

「放課後子ども教室だより」

No. 12

発行：県北教育事務所 2015. 3. 6

まゆみ遊友クラブ・川俣たのしい教室訪問

放課後子ども教室訪問

県北域内の放課後子ども教室は、地域のニーズに合わせて実施しています。本宮市では、全ての小学校に放課後子ども教室が設置されており、地域の人材を活かした「体験活動」を活動プログラムの一つとして位置づけています。川俣町では、原発事故の影響で実施できない放課後子ども教室がありますが、地域の実情や学校のニーズに合わせて開催方法を工夫して実施しています。

まゆみ遊友クラブ

本宮市 (2月4日)



(パステルによるしおり作り)

まゆみ遊友クラブは、本宮まゆみ小のランチルーム・和室を利用して実施しています。受付後、すぐに本日の活動プログラムである「パステル」に取り組みました。指導員が講師となり、パステルを使ったしおり作りを行いました。粉状にしたパステルを画用紙に指でこすると、味わいのある色が付きます。そこに色鉛筆等でアクセントを付けるとオリジナルのしおりの完成です。子どもたちは想像力を働かせ、かわいらしい作品を作り上げました。毎回わくわくするような活動プログラムで、子どもたちは遊友クラブをいつも楽しみにしています。

川俣たのしい教室

川俣町 (2月25日)



(オセロを楽しむ子どもたち)

川俣たのしい教室は、授業参観日の子どもたちの待ち時間を利用して実施しています。参加希望者約50名ほどが体育館で活動しました。指導員の説明の後、宿題をしたりボール遊びをしたり、たのしい教室で用意したオセロや紙風船、バトミントンなどをしたりして、自由遊びを楽しみました。校長先生をはじめ先生方も子どもたちに声をかけてくれました。震災の影響で空き教室がなくなり子ども教室が開催されずにいましたが、開催方法を工夫して実施しています。子どもたちの元気な声が体育館に響きました。